

# 授業改善書

科目名	欲求・行動心理学
担当者	古澤照幸

## 授業の概要

飲食、睡眠、性行動などの生物学的な欲求行動と喫煙やテレビゲームなどの社会的な欲求行動について検討を行う。まずは、生物学的な欲求についてその意味合いを述べ、動物の欲求行動の特徴について論ずる。次に社会的欲求概念を解説し、社会的欲求と考えられる欲求の概念をひとつずつ論じていく。さらに社会的欲求から派生する行動を欲求との関係から解説する。

## 授業の問題点

説明が分かりにくい（「教員の説明はわかりやすかったですか」；2.19）が最も低い値を示していた。また、「授業内容に興味や関心を持ちましたか」は「2.38」という低い数値であり、わかりにくい説明が授業への関心の程度を低めていたと考えられる。「Ⅲ授業満足度について」は、2項目ともに「2.50」であり、説明を理解しやすくするだけでも「満足度」を大きく増加させることができるのではないかと思う。

## 学生の授業満足度

「授業の問題点」でも述べたが、授業満足度は、「2.50」であり、中央値である。わかりやすい授業にしていくだけでも満足度は大きく上昇するのではないだろうか。数年前のこの講義における「満足度」は今回の結果よりも高かった。理解のしやすい講義であったはずである。理解をやすくし、興味を増加させていくことによって学習の意欲を高めるようにしていくことが必要であると考ええる。

## 授業改善の課題と方策

「授業の問題点」において示したが、分かりにくい説明が興味や関心を低下させる要因となっているのは確かである。なぜ、分かりにくい説明になったかを考え、満足度を高める方策を考えていきたい。また、授業改善のために、説明の分かりやすさの改善が必要であり、理解のための資料作りにも気を配る必要があると考ええる。

## その他

プリントの配布にも気を付けたい。講義用のプリントは、毎回、配布しているが、理解しやすいプリントとなるように注意したい。プリントの準備が十分にできていないと学生の理解が低下するのは確実である。この点にも注意したい。